

地域との共生

東京エレクトロングループは、未来を担う世代の育成に向けた取り組みや、ニーズに応じた地域密着型の市民活動、また東北被災地の復興と活性化支援など、さまざまな形で社会と関わり、ともに発展できる関係づくりに取り組んでいます。

科学教育の支援

● 理科教室

小学生に理科の楽しさを知ってもらうことを目的に「楽しい理科のななし」と題したサイエンスショーと実験教室を実施しました。空気砲を使って空気の力を体感するなど様々な実験を行ったサイエンスショーには、1,800人ものご家族が来場しました。実験教室では、低温の不思議などの理科実験を熱心に見つめる小学生の様子が伺えました。

毎回大人気のこの取り組みは、今後も継続して行う予定です。



その他の活動

- 「サイエンスサッカースクール」主催（東京エレクトロン）
- 「青少年のための科学の祭典 熊本大会 2012」協賛（東京エレクトロン九州）
- 「ハイテク・ユニバーシティ in 熊本」の受け入れ（東京エレクトロン九州）



サイエンスショーの様子

地域活性化

● 熊本城マラソンへの協賛

昨年に引き続き、ゴールドスポンサーとして熊本城マラソンに協賛しました。カラフルなランニングウェアに身を包んだ1万名を超えるランナーが、熊本市中心部を颯爽と走り抜けました。当社グループからは、第1回大会の80名を大きく上回る120名以上の社員が参加し、ゴールを目指して力走しました。また、応援ボランティアとして参加した社員は、手荷物預かりや炊き出し、沿道応援などを通じて大会を支援しました。



熊本城マラソン



全日本実業団対抗女子駅伝（クイーンズ駅伝 in 宮城）

その他の活動

- 「全日本実業団対抗女子駅伝（クイーンズ駅伝 in 宮城）」特別協賛（東京エレクトロン / 東京エレクトロン宮城）
- 「東京エレクトロン 葦崎文化ホール ネーミングライツ記念公演」協賛（東京エレクトロン山梨）
- 「江刺甚句まつり」協賛（東京エレクトロン東北）

環境保全

●「東京エレクトロンの森」植樹活動

森林の育成と環境保全への取り組みの一環として東京エレクトロンの森植樹活動を実施しています。この活動では、山梨県の名所のひとつである八ヶ岳のふもとに3.1ヘクタールの区画を設け、5年で3,000本のコナラなどの苗を植える予定です。第3回目の活動では、社員やその家族など総勢約200名の参加者がコナラの苗木を800本植えました。急な斜面での作業もありましたが、靴や衣服を泥だらけにしながらも、一生懸命に取り組みました。植樹には、動物たちへ食物やすみかを提供するほか、豊かな土壌をつくり出すという効果があります。

これからも自然への感謝と思いやりの気持ちを持って、地球環境保全を推進していきます。



東京エレクトロンの森 植樹活動

その他の活動

- 「第二回企業の森づくり」参加（東京エレクトロン東北）
- オフィス緑化運動（Tokyo Electron (Shanghai) Limited）
- エコ通勤バス実証実験（東京エレクトロン九州）

メセナ活動



グラン・ガラ・コンサート
ポスター

●東日本大震災復興祈念チャリティ・バレエ グラン・ガラ・コンサートを主催

2013年3月に、東京エレクトロンホール宮城および東京のBunkamuraオーチャードホールにて、ウクライナ国立キエフ・バレエ団の第一舞踏手である田北志のぶさんの声かけのもと、公演の趣旨に賛同いただいた世界各国のダンサーたちによる「東日本大震災復興祈念チャリティ・バレエ グラン・ガラ・コンサート」を主催しました。ご来場のお客さまにご購入いただいたチケット一枚につき1,000円を宮城県の震災復興基金に寄付することとして、仙台公演1,388枚分、東京公演1,807枚分、計319万5,000円を納めることができました。

その他の活動

- 宮城県・岩手県への震災復興支援寄付・寄贈（東京エレクトロン）
- Children In Need 参加（Tokyo Electron Europe Limited）
- TABLE FOR TWO プログラム（東京エレクトロン）
- ポリオワクチン寄付（東京エレクトロングループ）

東北復興プロジェクト

東京エレクトロンは、東日本大震災発生直後から、寄付金や様々なイベントを通じた支援活動を実施しています。震災から2年以上が経過しましたが、子どもたちや地元住民の笑顔で地域を活性化させたいという思いで、一日も早い復興と再生を支援しています。

① 被災小中学校 87校への寄付金支援

宮城・岩手両県の教育委員会の協力のもと、被災した小中学校87校に対し、総額2,640万円の寄付を実施しています。児童生徒の部活動や課外授業などに役立てていただいています。

② 仮設住宅を拠点としたコミュニティー支援

2012年に両県に設置されている725カ所の仮設住宅を対象に、健康器具等の物品の寄贈を行いました。集会所などで共同で使用できる物品を選び、仮設住宅間の交流の活性化やコミュニティーの形成に役立てていただくことを目的としています。被災地の復興を考慮し、寄贈品の調達と配送は地元企業との協働で行いました。

③ 職場体験の受け入れ

岩手県の教育委員会の協力のもと、当社の東北工場において地元中学校2校の「職場体験プログラム」を実施しました。

太陽光発電システムの寄贈

当社は、自然エネルギーと親しむきっかけづくりとして利用いただくため、宮城県7カ所、岩手県4カ所の学校や庁舎などの公共施設に太陽光発電システムを計11基寄贈しました。寄贈した太陽光発電システムは、当社太陽光パネル製造装置事業において現在最も注力している技術である薄膜シリコン型の太陽光パネルを使用しています。設置に必要な部材を標準化し、パイル基礎工法による仮設型とすることで、設置工事期間を短縮するとともに、復興に際し必要に応じて容易にシステムを移設することを可能としました。



■ 外部評価

「Synapse™シリーズ」が第18回半導体オブ・ザ・イヤーで優秀賞を受賞

半導体産業新聞主催の「第18回半導体オブ・ザ・イヤー 2012」半導体製造装置部門において、当社のウェーハボンディング/デボンディング装置「Synapseシリーズ」が優秀賞を受賞しました。

半導体オブ・ザ・イヤーは、産業タイムズ社が発行する半導体産業新聞が1994年から毎年開催している賞です。受賞製品・技術は、開発の斬新性や社会に与えたインパクト、市場でのシェア・評価、将来性などを基準に、同紙の記者投票により選定されます。現在、半導体製造においては、微細化と並んで、複数の半導体を垂直方向に積み重ねる半導体3次元積層技術が注目されています。当社は、半導体3次元積層技術の中核となるTSV(Through Silicon Via)に注力しており、「Synapseシリーズ」はその技術を用いた半導体の量産ラインに最適化された装置です。

今回の受賞では、技術の斬新性と社会・業界へのインパクトが高く評価され、半導体製造装置部門でノミネートされた48点から優秀賞として選ばれました。



ウェーハボンディング/デボンディング装置
Synapseシリーズ

■ その他の評価

カテゴリー	受賞歴※	表彰者
お客さま	2012年度 SCQI 賞 (Supplier Continuous Quality Improvement Award)	Intel 社
	BEST in Value APPRECIATION DAY 2012	Samsung Electronics 社
装置・製造	2012 C.Grant Willson Best Paper Award	SPIE Advanced Lithography
	SEMI 国際協力賞	SEMI (Semiconductor Equipment and Materials International)
	第44回市村産業賞	新技術開発財団
	合理的プロセス功績賞	Kepner-Tregoe 社
	特許ポートフォリオ「パイプラインパワー」4位 (半導体製造装置部門)	IEEE Spectrum Patent Power 2012
環境・安全	第25回東北ニューオフィス推進賞 東北経済産業局長賞 (東京エレクトロン宮城株式会社)	日本経済新聞社・ニューオフィス推進協会
	グリーンチョイスチャンピオン (Tokyo Electron America, Inc.)	Austin Energy 社
	ゴールドレベル (グリーン電力) (Tokyo Electron America, Inc.)	Portland General Electric 社
コミュニケーション	2012年インターネット IR・優良賞	大和インベスター・リレーションズ株式会社
	第33回「2012日本BtoB広告賞」雑誌広告の部 金賞	日本 BtoB 広告協会
	第52回消費者のためになった広告コンクール 新聞広告部門 銅賞	日本アドバイザーズ協会

※受賞社名がないものはすべて東京エレクトロン株式会社として受賞